

学習指導要領		都立飛鳥高校 学カスタンダード
<p>(1) 現 代 に 生 きて 自 己 の 課 題</p> <p>自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p> <p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p> <p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p> <p>(2) 人 間 と し て の 在 り 方 生 き 方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二の誕生、周辺人、モラトリアム、アイデンティティの確立といった概念を通して、青年期の意義と課題について理解する。</li> <li>・青年期にアイデンティティを確立するには、青年期における自我のめざめについて理解し、自分自身の心理についての考察を深め、自分らしい生き方を求める個性化が必要であることを理解する。</li> <li>・他者と共に生きる自己の生き方について、友人や家族など身近な人間関係だけでなく、集団や社会に適応する社会化が必要であることを理解する。</li> <li>・古代ギリシアの代表的先哲とその思想について理解し、ソクラテスが「ただ生きるのではなく、よく生きる」ことを説き、「魂を善くする」生き方を主張したことなどを知る。</li> <li>・啓示宗教の特徴について理解するとともに、民族宗教としてのユダヤ教の特徴やその歴史的展開について知る。</li> <li>・イエスの言行について理解を深めるとともに、イエスの死後、パウロらの伝道によってキリスト教が世界宗教として広がる基礎が築かれたことを理解する。</li> <li>・イスラームの誕生やイスラームにおける共同体の在り方など聖俗一致を基本とするイスラームの特徴について理解する。</li> <li>・同じ一神教であるユダヤ教、キリスト教イスラームを比較して、その共通点や相違点を理解できる。</li> <li>・仏陀の説いた「四苦」、「八苦」、「煩惱」などの諸概念と、それらを克服し、涅槃に至る方法としての「八正道」について知る。</li> <li>・孔子の教えについて理解するとともに、儒学が日本に与えた影響について知る。</li> <li>・古代日本人が多神教的な宗教観をもち、自然のように清らかな、神に対していつわることのない純粋な心（清明心）を尊んでいたことを理解する。</li> </ul>	

学習指導要領	都立飛鳥高校 学力スタンダード
<p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>ア 現代に生きる人間の倫理</p> <p>人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安仏教における最澄と空海の思想の相違や、鎌倉新仏教における自力と他力の信仰の相違などに着目して、我が国で独自に発展した仏教の各宗派の特徴的な考え方を理解する。</li> <li>・江戸の官学としての朱子学の考え方を理解するとともに、それに対する陽明学や古学、古文辞学による批判を踏まえて、我が国で独自に発展した儒学の特徴について理解する。</li> <li>・我が国における国学の発展や、賀茂真淵や本居宣長の考え方を通じて、「もののあはれ」や「真心」について理解する。</li> <li>・我が国における近代化の特徴について、西洋文化の受容という観点から理解する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や科学技術と人間とのかかわりについて、F. ベーコンとデカルトの考え方を中心に、近代科学を導いた西洋的な自然観や合理的精神について理解する。</li> <li>・ホッブズ、ロック、ルソーの三つの社会契約説について、社会と個人のかかわりに焦点を当てて理解する。</li> <li>・ベンサムやJ. S.ミルが功利主義の考え方を提唱し、「最大多数の最大幸福」を追求することで市民社会の諸矛盾を解決しようとしたことを理解する。</li> <li>・自己の生き方を自ら選択し決断する、主体的な人間の在り方について説いたキルケゴールやニーチェの考え方を理解する。</li> <li>・社会的弱者への奉仕活動に尽力したマザー・テレサの生き方などを通じて、現実の社会生活の中で人間尊重の精神を具現化することの困難さや尊さについて理解する。</li> <li>・地球環境問題を考察するための土台として、地球の</li> </ul>

学習指導要領		都立飛鳥高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代と倫理</p>	<p>イ 現代の諸課題と倫理                      生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>有限性、世代間倫理、自然の生存権の3点を重視した環境倫理の考え方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が急速に進展する中で、子育てや介護の問題が、家族や地域社会を越えて、国の重要な政策的課題になっていることを理解する。</li> <li>・情報を主体的に取捨選択し、批判的に読み取るメディアリテラシーの重要性について理解する。</li> <li>・サイドのオリエンタリズムの考え方などを踏まえて、異文化に対する偏見や固定的な思考を排除することが必要であることを理解する。</li> <li>・現代における国際問題の解決を図るためには、地球的な視野に立った国際協調の精神が不可欠であることを国際憲章などを基に理解する。</li> </ul>

学習指導要領	都立飛鳥高校 学カスタンダード

